

ぷれいす東京 NEWS

Positive Living And Community Empowerment TOKYO



ぷれいす東京NEWS 2016年11月号

「ぷれいす東京NEWS」メール配信のご案内

ぷれいす東京が発行するニュースレターが大きく変わります。これまでの紙による「ぷれいす東京 Newsletter」は終了し、メールで配信する「ぷれいす東京NEWS」に生まれ変わります。

この「ぷれいす東京 NEWS」では、地域の支援者、専門家、HIVに興味や関心がある人、一般市民など、多様な人に向けた情報発信を行います。HIV陽性者やその周囲の人に向けては、「ネスト・ニュースレター」で引き続き情報をお届けします。

ぷれいす東京では、HIV感染の不安や検査を受ける前後の相談、HIV陽性者や周囲の人たちの相談など、様々な支援サービスを提供しています。その現場からは、多様でリアルな声（VOICE）が集まってきます。今後は、そうした普段の活動のなかで得た実感などを、個人のプライバシーに十分配慮しながら、この「ぷれいす東京NEWS」を通してお届けします。

HIVへの社会的関心が低くなるなか、HIVを通じて映しだされる課題は、様々な問題にも通じるものがあります。サービスを提供する最前線から、現場のリアリティを社会に伝える使命が私たちにはあると感じています。ぜひ、ご購入をお願いします。

なお、安全な方法で多くの人たちに配信するために、外部の送信システム（ブレインメール）を採用しています。ブレインメールは、メールアドレスのみで登録でき、どなたでも購読できますので、Web上から登録をお願いします。また登録した後でも、ご自分でアドレス変更や配信解除もできます。



特定非営利活動法人 ぷれいす東京
代表 生島 嗣

「ぷれいす東京NEWS」メール配信のご案内

お知らせ

- 認定NPO申請の経過報告と今後について
- 12月10日(土) 今年も開催決定！Gay Men's Chorus ～出演者も募集中
- 0120相談の新たな取り組み
- web LASH.online—Love Life and Sexual Health スタート

活動から

- NPO法人ぷれいす東京 2015年度活動報告会
- 東京レインボープライドパレード2016報告
- ぷれいすトーク (2015年度 ザ・ボディショップ ニッポン基金から助成)

VOICE

- 特集「HIVってどんな病気？Special」の感想文 + 母親からの声

おすすめ情報

- ぷれいす東京Webの歩き方1 (お立場ナビとサイト内検索)

スタッフの声

寄付・応援

相談窓口

VOICE

お知らせ

認定NPO申請の経過報告と今後について

ぷれいす東京を応援してくださるみなさまへ

日頃よりぷれいす東京の活動を応援していただき、ありがとうございます。昨年から進めてきた認定NPO法人になるための協力依頼にあたっては、多くの方々にご支援いただき、誠にありがとうございました。



この記事を読む…



PLACE

Positive Living And Community Empowerment TOKYO
わたしたちはここにいます

12月10日(土) 今年も開催決定！Gay Men's Chorus ～出演者も募集中

2016年12月10日(土)午後に国立国際医療研究センターにて、ゲイ男性 (含む：トランス男性) の有志メンバーによる合唱ミニコンサートを予定しています。

Gay Men's Chorus for TOKYO AIDS WEEKS 2016



この記事を読む…



0120相談の新たな取り組み

0120相談では、今年度から新たな取り組みを2つ始めました。

- HIV陽性者の相談員による電話相談

6月から、ポジティブラインの毎週木曜日15:00~18:00は、HIV陽性者の相談員がHIV陽性者、パートナー、家族の電話相談に対応しています。陽性者と話をしてみたいけどプライバシーが気になる方、遠方でプログラムに参加できない方などのニーズに少しでも答えることができればと思います。



この記事を読む…

- 「判定保留／確認検査 結果待ちの人へ」のWebページの開設

7月から、ぷれいす東京のWeb上に「判定保留／確認検査 結果待ちの人へ」というページを開設しました。即日検査の導入で、検査の利便性は上がりましたが、検査の性質上、判定保留や確認検査待ちの結果を受け取る方がいます。そうした、どこにも相談がしにくい方たちをサポートしたいという思いから生まれました。確認検査を待つまでの過ごし方などがまとめてあります。是非ご活用ください。また電話相談もお待ちしています。

ぷれいす東京・ポジティブライン

0120(02)8341 (月~土: 13:00~19:00)



この記事を読む…

HIV陽性者による
電話相談がスタートします

以下の結果を受け取った場合

“確認検査待ち”
“判定保留”
“スクリーニング陽性”
“専門機関で検査を受けてください”
“偽陽性”

web LASH.online—Love Life and Sexual Health スタート

LASH.onlineがスタートしました。ぜひ、広報にご協力ください。

このサイトは主にゲイ、バイセクシュアル男性、トランス・ゲイ男性（MSM / Men who have Sex with Men/男性とセックスをする男性）を対象に、LOVEライフ、セクシュアルヘルス（性の健康）、メンタルヘルス（こころの健康、薬物使用など）に関する情報を発信します。このサイトをあなたの日常生活に役立ててください。



この記事を読む…

セックスや病気、
人生のいろいろ

おクスリのことなんかも？

で困ったことがある
あなたへ



活動から

[NPO法人ぷれいす東京 2015年度活動報告会報告](#)

2016年5月29日（日）の活動報告会には、賛助会員・寄付者などのサポーター、企業の方、連携機関の方、ふれいす東京スタッフ、HIV陽性者やその周囲の人など、72人が参加しました。



この記事を読む…

▼ 参加者による感想の一部を抜粋

「紙芝居のような報告会」橋本美佳(ザ・ボディショップ CRグループリーダー)

「相談者と相談員が対等なイメージ。自分の経験談を話すこともある」という言葉が印象的でした。

「もっと多くの人に知ってもらいたい」長良淳司(サーチコア(株)(職業紹介会社))

今回のような機会を通じて多くの方がHIVについての理解を深めることにより、誰にとっても生きやすい社会に変化していくのだと実感することが出来ました。



「初めての報告」BP(40代/陽性者/ノンケ)

これまでの闘病したお話を武田さんはサラリとお話されてるものの、死を宣告されながら過ごした当時の状況は想像すらできないほど厳しいものだったと感じました。

「居心地の良い休憩室」ぺん太郎

参加者の誰かと互いに共感できた実感できることは何よりも嬉しいことですし、その中で日頃感じる様々な自分のコンプレックスも少しずつ癒されていく気がします。

東京レインボープライドパレード2016報告

東京レインボープライドパレード2016 5月7日（土）～5月8日（日）
今年のフェスタ&パレードは、フロート（梯団）数が18、イベント広場でのブース出展は約120と、いずれも過去最高となったとのこと。



この記事を読む…



ふれいすトーク（2015年度 ザ・ボディショップニッポン基金から助成）

普段の生活では話しにくい3つのテーマで安心して語り合える場所をもうけました。

参加者同士が明るく楽しく交流することを通して、情報を増やしたり、今後に役立つ何かを発見してもらうことを目的にしました。この事業は、2015年度 ザ・ボディショップニッポン基金の助成を受けて実施しました。



この記事を読む…



「話したい気持ち」スタッフ日記（大槻）

おかげさまで、ザ・ボディショップ ニッポン基金助成「語り場・ぷれいすトーク“話してできる心のデトックス”」は、昨日をもって全ての日程を終了しました。ありがとうございました。



この記事を読む…



寄付・応援

相談窓口

VOICE

VOICE 特集「HIVってどんな病気？ Special」の感想文＋母親からの声

ぷれいす東京では、陽性者向けプログラムが中心でしたが、パートナーや母親だけでなく、家族も含めたプログラムを初めて開催しました。その「HIVってどんな病気？ Special(7月24日(日)開催)」の感想文2編です。

「これからの暮らし」タカ（父親）

（前略）…発症し、入院をした時は、親に対し、ひたすら申し訳ないと思う息子に、とにかく生きて欲しいと願った。



この記事を読む…

「一人で悩まないことの大切さ」なつ（40代／女性／パートナー）

2ヶ月前に初めてパートナーに聞かされた病気。頭が真っ白になりました。



この記事を読む…

この他にも、プログラムの感想文や「[Living with HIV](#)」に寄せられた母親の声を集めてみました。

「親子の愛」伯楽（60代／母親）

（前略）…同じように苦しんでいるお母様方の会に参加するようになって「私一人じゃないんだ」と思うようになった。

「打ち明けられた当時のこと」ひろこ（母親／50代／2009年に打ち明けられた）

あの時は本当にワラにもすがる思いでいっぱいだ



[「みちのり」地方の母（2007年告知／60代）](#)

暗い長いトンネルでした。私に知識と勇気があったらと今でも…



ったのです。…



[「息子の帰郷」 TONTO（母親）](#)

HIV陽性については、既に親には知らせてくれていましたが、2年前帰省した折、…



VOICE

ぷれいすVOICEは皆様の普段言えないでいる声などを、Web上で発信するものです。経験者の皆様にしか書けない、応援メッセージを募集します。

おすすめ情報

ぷれいす東京Webの歩き方(1)

● 欲しい情報が見つからなかったら、「[お立場ナビ](#)」をクリック！
「HIV陽性者・確認検査待ちの人」「パートナー・家族・友人」「医療福祉関係者」「感染を不安に思う人」「職場・学校の関係者」「取材・調査/研究・CSR担当者」「その他のお立場の方」の категорияがあります。

● もっと詳しく調べたい場合は、「[虫眼鏡（検索）](#)」をクリック！
調べたい言葉を入れて、サイト内を検索してください。サイト内の情報を検索して表示します。



スタッフの声

ぷれいす東京には、いろいろな人がかかわっていて、さまざまな活動がおこなわれています。ニュースレターや活動報告書ではお伝えできないひとりひとりの思いや、日々の風景があります。

[「ラッシュ」輸入でいきなり逮捕（スタッフ日記 2016/6/29 生島）](#)

こここのころ、ラッシュを個人輸入し、税関からの通報で警察が動きだし逮捕されるという事例が増えている。以前は、「もし税関でひっかかっても、所有権を放棄すれば大丈夫」という認識が多く流通していた。しかし、指定薬物となったところから、取り締まりが強化されたのだ。



[「あと1ヶ月」（スタッフ日記 2016/8/5 まきはら）](#)

梅雨があけたら、一気に真夏になり、個人的には汗なのか汁なのかわからないものがとめどもなく溢れる日々が続いておりますが、みなさまいかがおすごでしょうか。



[「ネスト・ニュースレター編集後記から」（かとう）](#)

東京レインボープライド フェスタ&パレードに参加しました。ブースもフロートも過去最大規模。お天気にも恵まれて、物凄くたくさんの方が会場に集まりました。生まれて初めて山車の鉄骨組をお手伝いしましたが、想像以上のガテン仕事。日焼けと疲労はしばらく抜けそうもありません。（2016年5月号より）

[「ネスト・ニュースレター編集後記から」（さとう）](#)

「あまロス」や「あさロス」がありました。今度は「ととロス」なのか？番組はいつかは終わるものです。NHK福祉ポータルサイト「ピープル」のブログが3月で終了しました。「ピープル」が5月いっぱい閉鎖とのこと。多くの「生きづらさ」を抱えている人たちの「道しるべ」なのだが…。せめてアーカイブとして残して欲しい。（2016年4月号 改訂）

寄付・応援

ぷれいす東京の活動は、HIV陽性者たちのサポートに欠かせないものです。皆様のご協力が必要です。クレジット決済では、月々1,000円からサポートを続けることができます。

相談窓口

感染不安の電話相談、HIV陽性者・パートナー・家族など周囲の方、および判定保留・確認検査待ちの方のための電話相談、ゲイによるゲイのための電話相談があります。

Living with HIV

身近な人からHIV陽性と伝えられたあなたへ

Living with HIVは、HIV陽性者のパートナー・家族・友だち・職場の仲間などの、24編の手記と、基礎知識データを取りまとめた短いコラムなどからなります。



ぷれいす東京NEWSの購読について

ぷれいす東京NEWSはこれまでにメールアドレスを登録された方に、外部のメール配信システム（ブレインメール）を使って送信しています。送信不要の場合、またはアドレス変更をご希望の場合は専用ページで手続きができます。ブレインメール（@e.bme.jp）からのメールを受信できるように設定をお願いします。

[登録・解除フォーム](#)

特定非営利活動法人ぷれいす東京

〒169-0075 [東京都新宿区高田馬場4-11-5 三幸ハイツ403](#)

[03-3361-8964](#)（月～土12-19時 ※祝祭日を除く）

Webサイト <http://www.ptokyo.org>

メールでのお問い合わせ office@ptokyo.org